

試験依頼先 財団法人日本食品分析センター

試験成績書発行年月日 平成 21 年 7 月 10 日

試験成績書発行番号 第 209060310-001 号

## 殺菌効果比較試験結果

### ○試験条件

試験日時 2009 年 6 月 24 日

天 気 晴れ・温度・湿度は表-3を参照

試験依頼先 財団法人日本食品分析センター 彩都研究所

試験場所 大阪府東大阪市

試験空間 約 9.1m<sup>3</sup> (H1700mm×W1760mm×D3050mm)

対象製品 表-1 に示す。

表-1

			
メーカー	T社(本社大阪)	S社(本社大阪)	P社(本社大阪)
型 式	BT-03 (TT-11DK) オゾン	IG-A100 プラズマクラスターイオン	F-PJD35 ナノイー
風 量	0.44 m <sup>3</sup> /min	1.7m <sup>3</sup> /min	2.0m <sup>3</sup> /min

### ○試験目的

各製品の除菌効果を確認する。

### ○試験方法

大腸菌と黄色ブドウ球菌を塗布した寒天平板培地（以下「試験平板」という。）を各製品が設置された同体積の密閉空間に設置し、製品を作動させ、1・2・3・4・5時間ごとに試験平板を取り出し、培養後、試験平板上の生育集落数を測定した。

○試験結果

表-2に記する。

表-2

試験菌	製品	生育集落数 (枚)					
		試験前	1時間後	2時間後	3時間後	4時間後	5時間後
大腸菌	<b>BT-03</b> T社(本社大阪)	305	332	2	0	0	0
	IG-A100 S社(本社大阪)	305	318	364	340	309	310
	F-PJD35 P社(本社大阪)	305	318	333	339	334	334
黄色ブドウ球菌	<b>BT-03</b> T社(本社大阪)	323	2	0	0	0	0
	IG-A100 S社(本社大阪)	323	354	314	323	321	293
	F-PJD35 P社(本社大阪)	323	328	342	333	323	298

・ 試験菌

*Escherichia coli* NBRC 3972 (大腸菌)

*Staphylococcus aureus subsp.aureus* NBRC 12732 (黄色ブドウ球菌)

・ 菌液の調整

試験菌株を普通寒天培地で 35℃±1℃、18~24 時間培養後、生理食塩水に浮遊させ、菌数が約 10<sup>8</sup>/ml となるように調整し、菌液とした。

・ 試験平板の調整

標準寒天培地 15ml をプラスチックシャーレ (φ90mm) に分中し、固化させた後、菌液を 0.1ml 塗布したものを試験平板とした。

・ 試験操作

各試験平板を 35℃±1℃で 2 日間培養後、試験平板上の生育集落数を計測した。

なお、検体未処理の試験平板を作用前とし、同様に試験した。

表-3に BT-03 (タムラテコ社製 最大オゾン発生量 50mg/h)のCT値(ppm・min)を記する。

表-3

	単位	試験前	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間
室温	℃	28.7	30.6	31.5	31.1	30.6	29.9
湿度	%	72	62	55	52	50	51
CT 値 (ppm・min)	-	0	19.2	66.6	123.6	183	246.9